

# KONICA



コニカ F P の 使 い 方

お買上げくださいますありがとうございます。

コニカFPは皆様からご好評をいただきました高級一眼ペンタプリズム式カメラコニカFSの諸性能をさらに飛躍的に向上させ、新たな装いのもとに完成しました。すばらしいピントが自慢のヘキサノンレンズ、ピント合わせが正確容易なマイクロダイヤプリズムファインダー、全速度にM級フラッシュバルブが、 $\frac{1}{25}$ 秒までストロボが同調する高能率のメタルフォーカルプレキシッターCdSコニカライトメーターのシャッター速度連動、クイックリターシミラーといつでも明るく見える完全自動絞り機構など数々の特色を備えた高性能一眼レフカメラとして、ご満足いただけることと存じます。交換レンズとして広角から望遠まで、コニカマウントの優秀なヘキサノンレンズ群を用意してございますので、あわせてご愛用ください。

## 使用上のご注意

- レンズ装着の際、手動絞りレバーを指先で押していないように。
- ミラーにさわらないように。もしゴミが付着したら、柔かい羽毛で払ってください。
- シャッターは精密調整がしてあり、しかも羽根は薄いものですから手を触れないでください。
- Bおよび緩速度シャッターの作動中に巻上げをおこなわないでください。



さくらフィルム

— 目 次 —

コニカFP主要性能……………6  
 各部の名称 — 1……………8  
 各部の名称 — 2……………9  
 各部の名称 — 3……………10  
 各部の名称 — 4……………11  
 巻上げレバーの操作……………12  
 フィルムの入れ方……………14  
 フィルムインジケータ……………19  
 ガンカプラー……………19  
 写 し 方……………20

ピントの合わせ方と  
 ファインダーの見方……………22  
 四季の露出表……………25  
 シャッターと絞り……………26  
 レンズの着脱……………30  
 フラッシュ同調撮影……………32  
 セルフタイマーの使い方……………34  
 被写界深度……………35  
 フィルムの巻戻し……………38  
 ヘキサノン交換レンズ群……………40  
 コニカFP用アクセサリ……………41

## コニカ F P 主要性能

画面サイズ	24×36ミリ
使用フィルム	35ミリフィルムパトローネ入り
標準レンズ	ヘキサノンF 1.8 52ミリ 5群6枚構成 改良アンバーコーテッド 至近撮影距離0.6メートル(2フィート)
マウント	バヨネット式コニカマウント(口径40ミリ フランジバック40.5ミリ)
絞り機構	完全自動絞り 被写界深度確認用手動絞り装置付
ファインダー	ペンタプリズム式正立正像アイレベルファインダー
ピント合わせ	マイクロダイヤプリズムによって正確なピントが すばやく しかも 容易に合わせられます
ミラー	ミラー前端垂直上昇式完全クイックリターン
シャッター	コパルスクエア メタルフォーカルプレッ 等間隔倍数系列目盛 一軸不回転ダイヤル

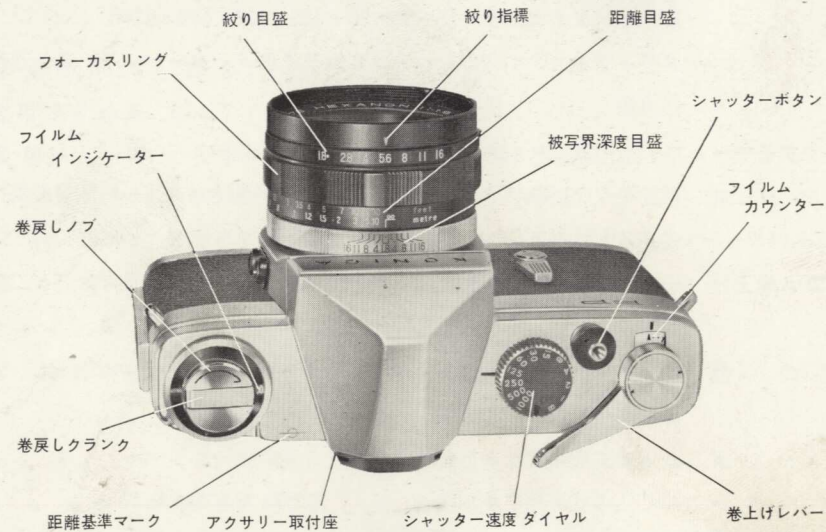
B・1・2・4・8・15・30・60・125・250・500・1000

クリップオンタイプのCdSコニカライトメーターがシャッター速度に連動

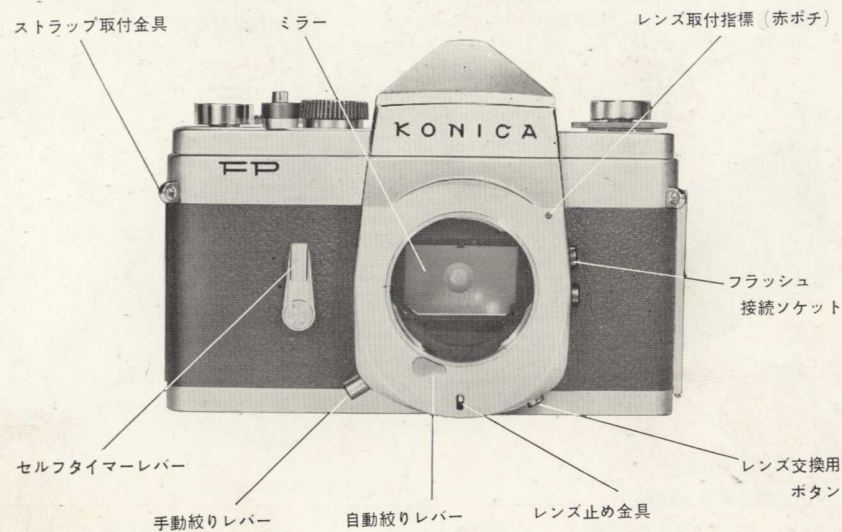
セルフタイマー	ボデー内蔵 セット角度70° 全作動時間約10秒
シンクロナイズ	MX接点 M級フラッシュバルブ全速度完全同調(遅延時間自動調節式) ストロボは $\frac{1}{25}$ 秒まで同調 ソケットJIS B型
フィルム巻上げ	一作動によるレバー巻上げ(巻上角約180°) セルフコッキング 二重露出防止
その他	オートマチックフィルムカウンター クランク式フィルム巻戻し 巻戻しボタンの自動解除
フード	かぶせ式専用フード 57ミリ
フィルター	ねじ込み式専用フィルター 55ミリ P=0.75
大きさ重量	145×102.5×80ミリ 958グラム(標準レンズ付)



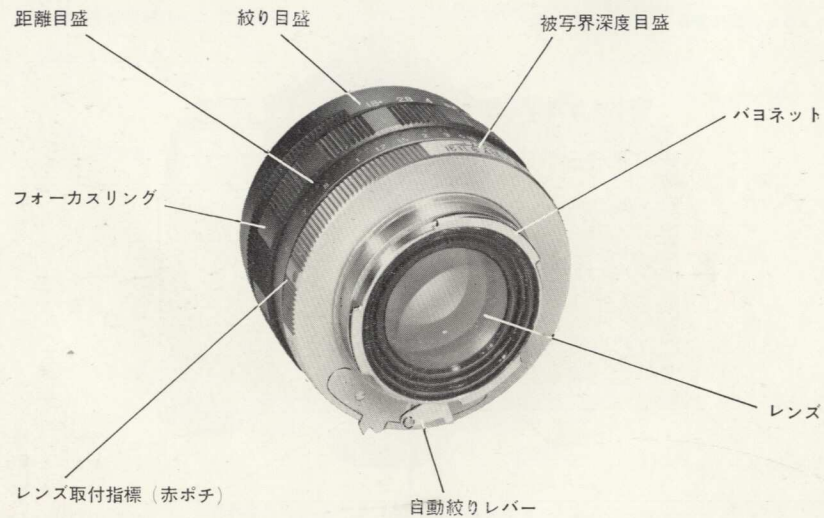
各部の名称 — 1



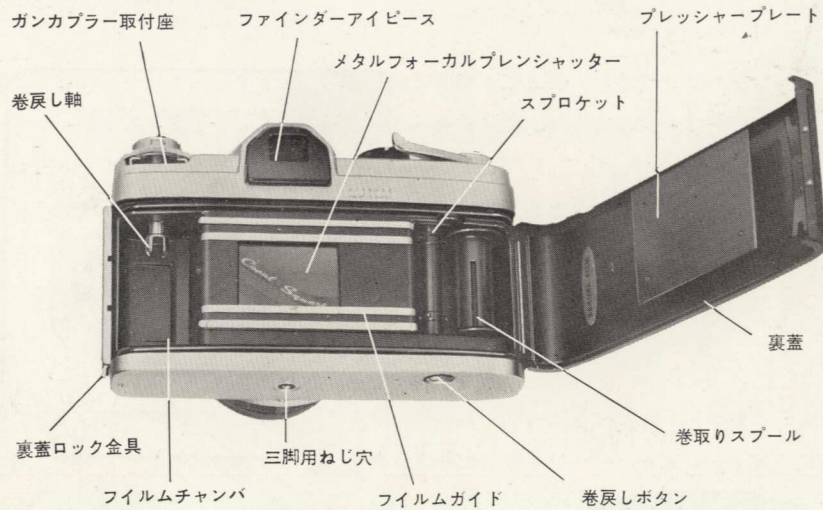
各部の名称 — 2



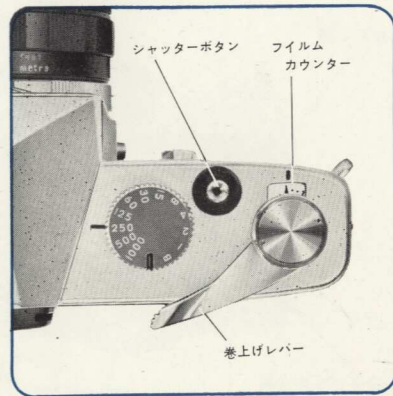
各部の名称 - 3



各部の名称 - 4



## 巻上げレバーの操作



さくらフィルム

- 巻上げレバーを止まるまで一作動するとフィルムが一コマ巻上げられ同時にミラークイックリターン装置およびシャッターがチャージされます。
- フィルムカウンターは巻上げレバーを一作動するごとに一目盛ずつ進み36でフリーになり、撮影終了後フィルムを巻戻してから裏蓋を開けると自動的にスタートマーク(▲)に戻ります。
- 巻上げレバーは撮影直前に操作する習慣をつけてください。チャージしたまま長時間放置することはシャッターのためによくありません、不用意にシャッターボタンを押し無用な露出をしたりします。
- シャッター速度の変更は巻上げの前後に自由であります。
- フィルムが全部撮影済みになったとき、巻上げレバーが途中で止ってしまふことがあります。このときは巻戻しボタンを押したまま、巻上げレバーを止まる位置まで操作すれば元に戻ります。



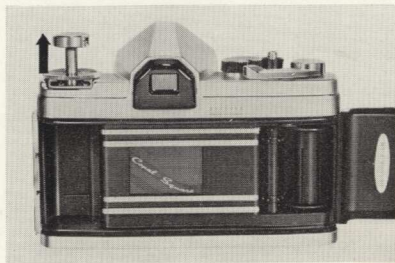
## フイルムの入れ方

■コニカFPはパトローネ入り35ミリフィルムを使用します。

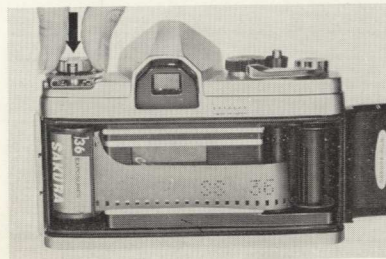
■フィルムを入れるときは必ず日陰を選んでください。日陰のない場所では自分のからだの陰を利用するのも一つの方法です。

さくらフィルム

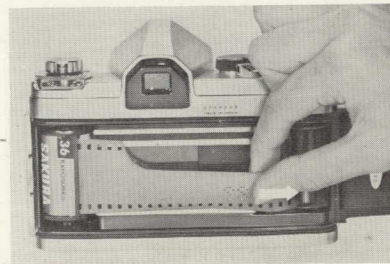
①裏蓋ロック金具を引いてカメラの裏蓋を開き、巻戻し軸を引き出しておきます。



②パトローネをフィルムチャンバーに納め、巻戻し軸を左右に少し回しながら元の位置に押し込み、

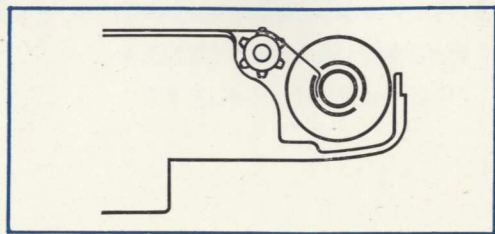


③フィルムの先端を巻取りスプールの端に合わせて溝に差し込み（巻取りスプールは空転しますから指先で回し溝を差し込みやすい位置にします）。

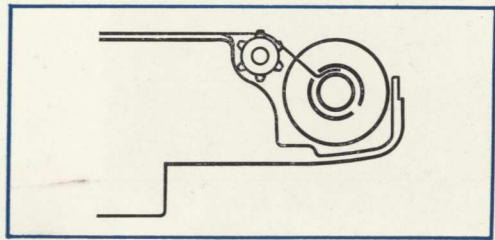




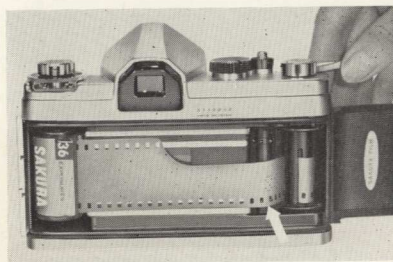
■フィルムの先端を図示の方向に差し込んでおけば、巻戻し完了の際フィルムが巻取りスプールから軽くはずれます。一般にはこの方向に差し込むようおすすめします。



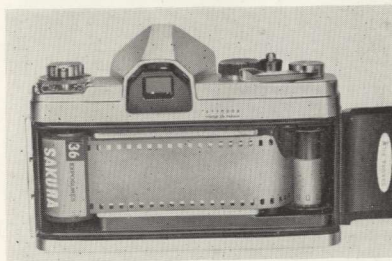
■フィルムの先端を図示の方向に差し込んだときには、巻戻し完了の際フィルムが停止して巻取りスプールからはずれないため、むりに巻戻しクランクを回さなくて、裏蓋を開いて指先でフィルムをはずしてください。



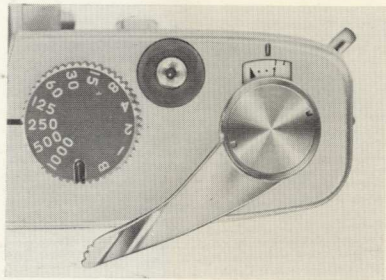
④パーフォレーション(フィルムの穴)をスプロケットの歯に合わせながら巻上げレバーを操作すると、フィルムが巻取りスプールに巻かれます。



⑤両側のパーフォレーションがスプロケットにかかったところで裏蓋を閉じ、巻戻しノブを矢印の方向に回してフィルムのゆるみをなくしておきます。



⑥レバーを巻上げ、シャッターボタンを押す操作を二回繰返すとフィルムカウンターは1の手前の黒ポチを指しております。

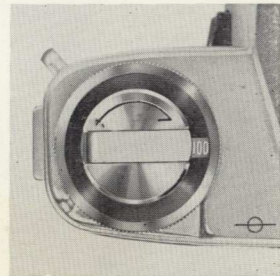


以上で撮影の準備ができました。

■6の操作中フィルムが正しく巻上げられているときには巻戻しノブが矢印の反対方向に回ります。もし回らなければフィルムが正しく巻上げられていないのですから、フィルムの入れ直しをしなければなりません。

## フィルムインジケーター

カメラに入れたフィルムの感度(ASA露光指数)を合わせておきます。青色はモノクロームまたはカラーネガフィルム、赤色はカラーポジフィルムというように識別してご利用ください。

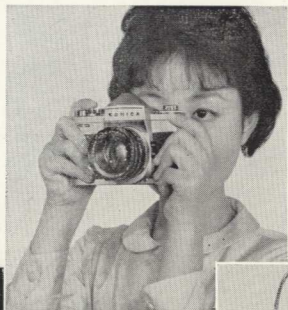


## ガンカプラー

付属のガンカプラーはフラッシュガンをカメラに取付けるための金具です。ガンカプラー取付座に差し込むと、コニフラッシュⅢ、ⅢMなどのポケットガンが取付けられます。



# 写 し 方



まず、フィルムをカメラに入れてから、そのときの被写体に適した露出になるシャッター速度と絞りを決め、それぞれを指標に合わせます。次にファインダーをのぞき、フォーカスリングを回して被写体にピントを合わせます。

カメラは両手でしっかり持って手、鼻、ひたいなどでうまく顔に密着させて安定をはかり、ファインダーの中で構図を決めて、カメラをブラさないように注意しながら静かにシャッターボタンを押します。これで撮影がすんだわけです。

巻上げレバーを巻上げてフィルムを1コマ送り次の撮影をおこない、こうして、フィルムの所定枚数の撮影がすんだならばフィルムの巻戻しをおこなって、カメラの裏蓋を開きパトローネを取り出します。

三脚を使用するときには、カメラ底部の三脚用ねじ穴に取付けます。ケーブルレリーズはシャッターボタン中央のケーブルレリーズソケットにねじ込んで使用します。



## ピントの合わせ方と ファインダーの見方

ピントを合わせるには、ファインダーをのぞきフォーカスリングを回しておこないます。ピントが合っていないときには、ファインダー中央部に見えるマイクロダイヤプリズムの像がギザギザに見え、ピントが合ったときには像がハッキリし、同時に周囲のマット面の像もハッキリ見えます。

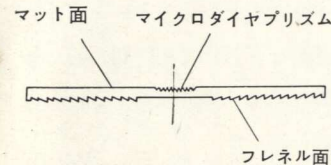
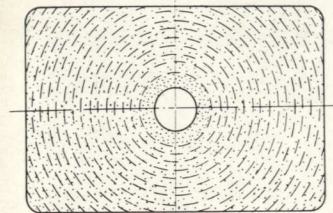


ピントが合っていないとき



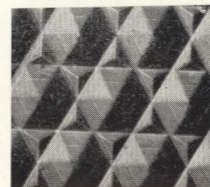
ピントが合ったとき

コニカFPは巻上げレバーの操作前後におけるミラーの角度誤差が生じないため、ピント合わせをいずれの時期におこなっても常に正しいピントが得られます。



右の写真はマイクロダイヤプリズムの一部分を顕微鏡でみたものです。

マイクロダイヤプリズムは当社独得の六角錐の形状をした微小偏角プリズムを幾何学的な配列で構成した焦点板であります。そのためにピントが合ったときには像がハッキリ見えますが、ピントが合っていないときには像が六方向にくずれて見えます。そしてフォーカスリングのわずかな動きに対しても像の合い方が敏感に変化しますので、すばやく正確にピントが合わせられることを特徴とします。



特に夜間撮影などの点光源に対しては、美しいダイヤモンドの光に似た独得の見え味となりピントの判別が非常に顕著であります。



ファインダー

ファインダーはペンタゴンドウハプリズムにより、撮影レンズの映像が正立正像で見られ、パララックスがありませんから、近距離でも遠距離でも、レンズを交換した場合にもファインダーに見える像そのままがフィルムに写ります。

クイックリターンミラーと完全自動絞り

クイックリターンミラーと完全自動絞り機構のためシャッターボタンを押すと絞りが開放からあらかじめ決めておいたF値まで絞られ、ミラーがはね上りシャッターがきれ、再びミラーが元の位置に、絞りも開放に戻ります。この運動はきわめて短時間におこなわれるため、ファインダーの見えなくなるのはほんの一瞬だけで、撮影直前、直後とも、常に常時開放絞りの明るいファインダー視野が見られます。

距離基準マーク

被写体距離はこのマーク(⊖)を基準にして表示されており、フィルム位置になっております。

正しい露出を決めることは、撮影を成功させる第一条件です。戸外の露出は被写体の種類のほかに、フィルムの感度、季節、天候、時間、採光状態などによって決められます。

これらの要素を組合せて、実際の露出を示したのが次の四季の露出表です。

四季の露出表 (晴天、順光線、フィルターなし)

季節 被写体	春	夏	秋	冬
空の多い風景 遠い山・海岸	F 16	F 22	F 16	F 11
広い風景 明るい近景	F 11	F 16	F 11	F 8
戸外人物 街頭スナップ	F 8	F 11	F 8	F 5.6
動植物 人物近写	F 4	F 5.6	F 4	F 2.8

- 使用フィルム コニパンSS
- シャッター速度 1/250秒
- 時刻日の出2時間後から日没2時間前まで。
- 朝夕は2倍 日陰は4~8倍。
- フィルター使用時はその露出倍数をかけてください。
- コニパンSは2倍、コニパンサンエスSSSは1/2の露出にします。

## シャッターと絞り



コニカFPのシャッターコパルスクエアは、メタルフォーカルプレキシャッターで、金属羽根を使用しているため耐久性、耐寒性、耐熱性にすぐれており、羽根の走行速度が速い（画面上の短辺を約7.5ミリ秒で走行）ので、最高速度においてもスリットが広く露出時間が常に安定しており、動体撮影のゆがみもほとんど生じません。

さらに、M級フラッシュバルブが遅延時間自動調節機構により全速度に完全同調、ストロボは $\frac{1}{25}$ 秒まで同調するなど、数々の特色を備えた新しいメタルフォーカルプレキシャッターであります。

シャッター速度ダイヤルはB～1000の相互間で回転し各目盛位置でクリックストップになっており、指先で回して速度を合わせます。速度目盛の色文字 125はストロボ同調の最高速度を示したものです。クリップオンタイプのCdSコニカライトメーターがシャッター速度に連動します。

### シャッターの役目

- ①動体を写し止める 動きの速い被写体は速いシャッター速度で写さなければ被写体の動きによるぶれを生じます。同一動きに対しては近距離ほど高速シャッターを必要とします。
- ②光量の調節 絞りの役目と同じようにフィルム面に到達する光の量を調節します。同一絞りならばシャッター速度を一段遅くすることにより二倍の光量が入るわけです。

シャッター速度に連動するCdSコニカライトメーターをご愛用ください。

シャッター速度											
B	1	2	4	8	15	30	60	125	250	500	1000



絞り目盛は等間隔目盛でF 1.8をのぞいて1目盛変えるごとにレンズを通過する光量が半減または倍加する関係になっております。つまりF 4はF 2.8の半分の光量、F 4はF 5.6の2倍の光量となります。絞り口径は連続的に変るものですから中間位置でも使用できます。コニカFPは完全自動絞り機構ですから、絞り目盛をどこにセットしても常時開放絞りになっており、シャッターの作動する瞬間だけ所定の絞り値まで絞られ、再び開放絞りに戻ります。

### 絞りの役目

- ① **光量の調節** 暗いところでは絞りを大きく開き、明るいところでは小絞りにしてフィルム面に到達する光の量を調節します。
- ② **被写界深度の調節** 被写界深度は絞りを開くと浅く、絞りを小絞りにするほど深くなります。

コニカライトメーターをご使用になりますと適正絞りが一目で直読できます。

絞 り 目 盛							
1.8	(2)	2.8	4	5.6	8	11	16

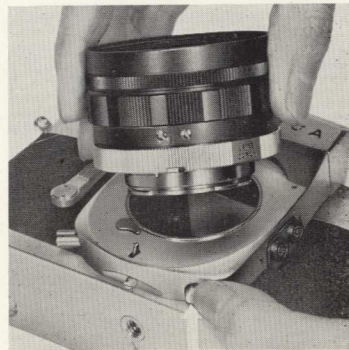
### シャッターと絞りの関係

写真を撮るときには、シャッター速度と絞りの組合せによって適正露出を決めます。適正露出とは、ちょうど良い濃さのきれいなネガを得るためのシャッター速度と絞りの組合せで、使用フィルムの感度、季節、天候、時間などによっても違ってきます。馴れないうちは別表の露出表にしたがって、シャッター速度と絞りを決めてください。シャッター速度と絞りはどちらも倍数関係になっていますから、同じシャッター速度ならば絞りを1目盛開くと2倍の露出に、絞りはそのままシャッター速度を1段遅くしても2倍の露出になります。たとえば、F 11  $\frac{1}{25}$ 秒の2倍だけ多く露出をかけたいときは、絞りはそのままシャッター速度を $\frac{1}{60}$ 秒にするか、またはシャッター速度は $\frac{1}{25}$ 秒のまま絞りを1目盛開いてF 8にします。このように絞りとシャッターは、どちらも倍々の関係になっていますから、F 8  $\frac{1}{250}$ 秒、F 11  $\frac{1}{25}$ 秒、F 16  $\frac{1}{60}$ 秒という三つの組合せは、どれを選んでもフィルム面に当る光量は同になります。

## レ ン ズ の 着 脱

■コニカFPは三本爪のバヨネット式のコニカマウントですからレンズを約 $\frac{1}{6}$ 回転するだけで、着脱が簡単にしかも速かにおこなえます。

レンズをはずすにはレンズ交換用ボタンを押しながら、レンズを左（反時計方向）へ止まるまで（レンズとボデーの赤ポチの合う位置まで）回転するとはずれます。



レンズを取付けるには、レンズ側とボデー側の取付け指標（赤ポチ）を合わせて正しくはめ込み、右（時計方向）へ回すとレンズ止め金具に突起がはまり、レンズは装着されます。



■レンズを装着すると、レンズ側とボデー側の自動絞りレバーが自動的に結合されます。

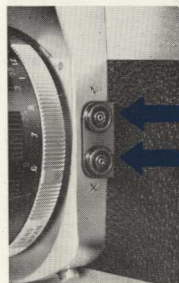
■レンズ装着の際、手動絞りレバーを指先で押していないようにご注意ください。



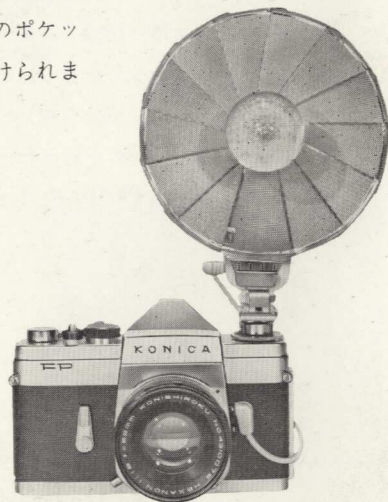
## フラッシュ同調撮影

コニカFPのコバルスクエ  
アシャッターは、M級バルブ  
が $1/1000$ 秒まで、ストロボ  
は $1/125$ 秒まで同調します。

ガンカプラーをはめ込  
むと、コニフラッシュ  
III、III Mなどのポケッ  
トガンが取付けられま  
す。



M級フラッシュバルブ  
を使用する場合には、  
接続コードをM接点に  
ストロボを使用すると  
きはX接点に接続し  
てください。



フラッシュ同調撮影はフラッシュバルブの発光を光源として写すのですから、フラッシュバルブの光の強さと被写体までの距離に応じて絞りの調節によって露出を決めます。フラッシュバルブの使用説明書にはガイドナンバーが示されておりますから、このガイドナンバーを光源から被写体までの距離で割ったものが、そのときの適正絞り数値になります。

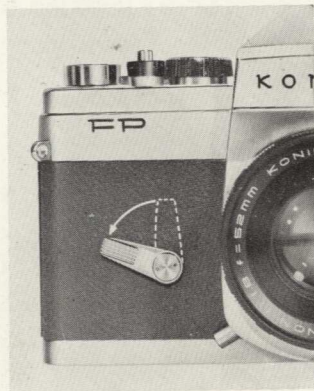
### フラッシュ同調表

接点		シャッター速度											
		バルブ	1	2	4	8	15	30	60	125	250	500	1000
M	M 級	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	F P 級	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	F 級	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
X	ストロボ	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	F 級	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×

○印……使用可能    ×印……使用不可能

たとえば、マツダスーパー0を使用し、コニパンSSを用いて $1/50$ 秒以下のシャッターをきるときのガイドナンバーは42ですから、距離5メートルでは $42 \div 5 \div 8$ となり、F 8が適正絞りと判断されます。

## セルフタイマーの 使い方



巻上げレバーを操作してからセルフタイマーレバーを約70度回してセットし(この逆の順序でもよい)シャッターボタンを押すとセルフタイマーが作動し、約10秒経過してシャッターがきれます。

### セルフタイマーは

- B以外の各速度(1~ $\frac{1}{1000}$ 秒)で使用できます。
- 作動時間を短かくしたいときにはセット量を少なくします。
- セット後のシャッター速度変更は自由です。
- セルフタイマーは記念撮影に利用するほかにも接写や顕微鏡写真撮影のように、シャッターをきる際のカメラぶれを極度に警戒しなければならない場合に使用しても効果があります。

## 被 写 界 深 度

一つの被写体にピントを合わせたとき、その前後においても実用上鮮鋭に写る範囲があります。この鮮鋭に写る範囲を被写界深度といいます。

そして被写界深度は次のような性質をもっています。

- 一定距離においては絞りを絞るほど深度は深く、絞りを大きく開くほど浅くなる。
- 一定の絞りならば被写体までの距離が遠いほど深く近距離においては浅くなる。
- ピントを合わせた被写体の後方に深く前方には浅い。
- 同一距離、同一絞りならば、焦点距離の短いレンズのほうが深く、長いレンズのほうが浅い。

コニカFPでは次の二つの方法によって被写界深度を知ることができます。

- ① 手動絞りによる確認
- ② 被写界深度目盛により

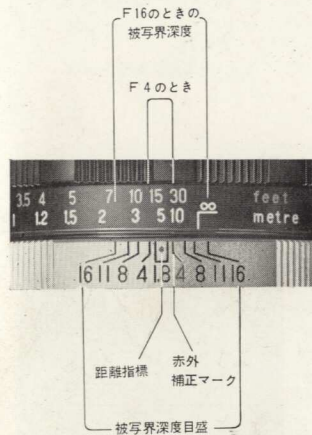
### 手動絞りによる確認

レンズの絞り目盛がどこにあっても絞りそのものは常時開放の状態になっていますが、手動絞りレバーを押すことによって、決めてある絞り値まで絞り込まれるので、ファインダーのピント面に写る被写体の像を肉眼で見ながらバックのボケぐあいや被写界深度を確認することができます。



■手動絞りレバーを押したまま、絞りリングを回して、あらかじめ希望の被写界深度になる絞り値を決めることもできます。

### 被写界深度目盛により



距離指標を中心として両側に絞り目盛が記してありますが、使用する絞りの値に囲まれた距離の範囲が被写界深度になります。たとえば被写体までの距離が5メートルであったとすると、F4のときには約4メートルから7メートルまでの間が鮮鋭に写り、F16に絞ると約2.5メートルからほとんど $\infty$ までが被写界深度に入ることがわかります。

### 赤外補正マーク

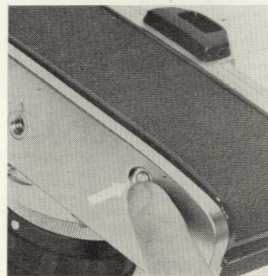
赤外フィルムにより赤色系フィルターを用いた赤外線写真撮影の場合には、普通にピントを合わせた後、距離指標で距離目盛を読み、その読み目盛を赤外補正マーク（赤文字の4）の線まで移動すれば正しいピントが得られます。



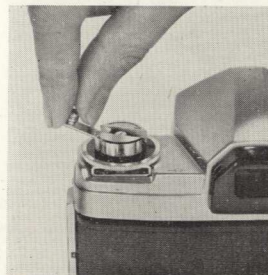
## フィルムの巻戻し

- ①まず巻戻しボタンを押し（自動解除のため一度押せばよい）

- フィルムを全部撮影し終ると巻上げレバーは動かなくなりますから、むりに動かさないでフィルムを巻戻します。
- フィルム終了の最後の巻上げに際し巻上げレバーが途中で止ったときには、巻戻しボタンを押したまま巻上げレバーを止まる位置まで操作すれば元に戻ります。



- ②巻戻しクランクを起して矢印の方向に回転するとフィルムはもとのパトローネに巻戻せます。



- ③次に裏蓋を開き、巻戻しクランクを引出してパトローネを取出します。



- フィルムが巻取りスプールからはずれるときには一度重くなって急に軽くなります。フィルムのリーダー部分を残しておくにはこのときに巻戻し操作を停止します。
- パトローネをカメラから出すときには日陰で操作してください。



## ヘキサノン交換レンズ群



F 2.8	35ミリ	完全自動絞り	¥ 22,400
		プリセット絞り	¥ 15,200
		ケース	¥ 600
		フード (ケース付)	¥ 1,000
F 2.8	100ミリ	完全自動絞り	¥ 21,400
		プリセット絞り	¥ 15,500
		ケース	¥ 600
		フード	¥ 700
F 3.5	135ミリ	完全自動絞り	¥ 23,700
		プリセット絞り	¥ 14,300
		ケース	¥ 1,300
		フード	¥ 700
F 3.5	200ミリ	プリセット絞り	¥ 26,600
		ケース	¥ 1,800
F 4.5	400ミリ	プリセット絞り	¥ 115,000
		フード、フィルター (UV・Y <sub>1</sub> ・Y <sub>2</sub> ・R <sub>1</sub> ・R <sub>2</sub> )	
		付属携帯用木製ケース入セット	

## コニカライトメーター



コニカライトメーターはクリップオンタイプの電気露出計で、シャッター速度に連動します。受光体にはCdS (硫化カドミウム光導電体) を使用してありますから、従来のセレン光電池露出計より、はるかに高感度で、非常に暗い被写体まで測定でき、また測定角度が40度で標準レンズの写角とほぼ同じですから、撮影位置から常に正確な露出が測定できます。

測定方式 反射光式 高低二段切替  
 測定範囲 (ASA 100の場合) LV 2 (F 2 1秒)  
 ~ LV 18 (F 16  $\frac{1}{1000}$  秒)

電源 MD型水銀電池 1.3ボルト  
 電源チェック 電池の消耗が一目でわかる電源チェックボタン付  
 フィルム露光指数 ASA 6~3200 DIN 9~37

¥ 4,500  
 (ケース ¥ 450)

## コニフード

コニフードは撮影光以外の有害光防止のために必要であり、特にフラッシュ撮影時には是非必要です。コニフードは最も効果的に設計されており、締付ねじによって固定されますから撮影中に脱落するようなことはありません。

¥ 1,100 (革ケース付)

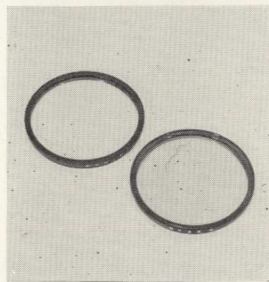


## コニフィルター

コニフィルターは厳密な光学検査を経たもので、金属枠付で各種とも理想的な吸収をおこなう高性能フィルターですから、撮影効果をじゅうぶん発揮することができます。

種類……SL39(UV)・  
SY48(Y<sub>1</sub>)・SY52(Y<sub>2</sub>)・  
SO56(R<sub>1</sub>)

¥ 1,200



## アングルファインダー

アングルファインダーを使用しますと、ファインダーが上方より見られるようになりますから低アングルの撮影、接写、複写あるいは顕微鏡撮影などの操作が非常にやりやすくなります。

¥ 4,200 (ケース付)



## 接写リング

接写リングは、コニカFPのボデーとレンズの間に取付けて接写に使用します。接写リングは1組のベースリングおよび4コの間子リングよりなっており、これらの組合せによって、図書文献の複写や昆虫、草花等の接写がファインダーに見えるまま、実物大までの撮影が簡便におこなえます。

¥ 3,500 (セット)

¥ 3,300



## アタッチメントレンズ

コニカFPのレンズ枠にねじ込んで取付けますと、ファインダーに見えるままのクローズアップや複写が、コニカFPの自動絞り機構を働かしたまま簡単に接写がおこなえます。

1号 64cm~36cm用  
2号 36cm~28cm用  
1号と2号を併用すると24cmまでの接写ができます。

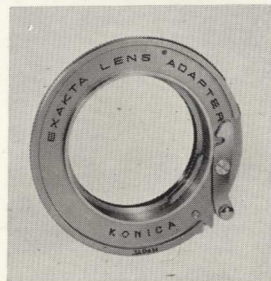
各号 ¥ 2,200



## エキザクタレンズアダプター

コニカFPにエキザクタレンズアダプターを取付けますと、エキザクタマウントのレンズがフルレンジにおいて使用できます。

¥ 1,300



## カメラケース前蓋 (メーター付用)

このカメラケース前蓋と付け替えますと、コニカライトメーターをカメラに取付けたまま収納できます。

¥ 1,500



## エクステンションベローズ

エクステンションベローズはレンズとボデーの間に装着する接写用蛇腹装置で伸縮が自在ですから、特に接写の場合連続的に被写体距離を変えたいとき、動植物の生態写真、微小標本の撮影等に便利です。

撮影倍率 1~2.5×

¥ 5,000

¥ 4,300





# 被 写 界 深 度 表

ヘキサノンF 1.8 52ミリ

許容錯乱円直径 $\frac{3}{100}$ ミリ (メートル)

Meter F.NO.	0.6	0.7	0.8	1.0	1.2	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	∞
1.8	0.60	0.69	0.79	0.98	1.18	1.46	1.93	2.84	4.57	8.40	51.39
	0.61	0.71	0.81	1.02	1.22	1.54	2.07	3.17	5.52	12.37	∞
2	0.59	0.69	0.79	0.98	1.17	1.45	1.92	2.81	4.48	8.09	41.64
	0.61	0.71	0.81	1.02	1.23	1.55	2.09	3.22	5.66	13.10	∞
2.8	0.59	0.69	0.78	0.97	1.16	1.44	1.89	2.74	4.30	7.52	29.77
	0.61	0.72	0.82	1.03	1.24	1.57	2.13	3.31	5.97	14.96	∞
4	0.59	0.68	0.78	0.96	1.14	1.41	1.84	2.64	4.06	6.80	20.87
	0.61	0.72	0.82	1.04	1.26	1.60	2.19	3.47	6.51	19.02	∞
5.6	0.58	0.67	0.77	0.95	1.12	1.38	1.78	2.53	3.78	6.04	14.93
	0.62	0.73	0.83	1.06	1.29	1.65	2.28	3.71	7.42	29.87	∞
8	0.58	0.66	0.76	0.93	1.09	1.33	1.71	2.37	3.43	5.17	10.48
	0.63	0.75	0.85	1.09	1.33	1.72	2.43	4.13	9.38	∞	∞
11	0.57	0.64	0.74	0.90	1.06	1.28	1.62	2.19	3.07	4.38	7.65
	0.64	0.77	0.87	1.12	1.39	1.82	2.64	4.81	14.07	∞	∞
16	0.56	0.62	0.72	0.87	1.01	1.20	1.49	1.96	2.62	3.50	5.29
	0.65	0.80	0.91	1.19	1.50	2.02	3.10	6.68	87.85	∞	∞

(F 1.8 52)

当社の製品は厳密な検査を経て出荷されたものでありますが、万一故障あるいは不審の点がございましたら最寄りのサービスステーションあるいは営業所にお問合せください。ご送付なさる場合には元どおり箱に納め、厚さ2センチぐらいの衝撃防止になるパッキングで包み、段ボールまたは木箱に入れてお送りください。

M E M O	
レンズ No.	
ボデー No.	

## 小西六写真工業株式会社

東京サービスステーション  
東京都中央区日本橋室町3-1  
(東京営業所内)

電話 東京 (241) 4181, 7261 代表

大阪サービスステーション  
大阪市南区長堀橋筋1-46  
(大阪営業所内)

電話 大阪 (271) 0451 代表

福岡サービスステーション  
福岡市下呉服町1-3  
(福岡営業所内)

電話 西 (2) 5535 ~ 7

名古屋営業所  
名古屋市中区南大津通1-11  
(千代田ビル内)

電話 名古屋 (24) 7321 ~ 4

札幌サービスステーション  
札幌市北二条西2-32  
(札幌営業所内)

電話 札幌 (6) 0261 代表



# KONICA



小西六写真工業株式会社

東京都中央区日本橋室町3-1  
電話 東京(241)4181.7261代表